

経営比較分析表（平成28年度決算）

富山県富山市 富山市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I訓ガ	救臨が感災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
418,304	41,606	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
539	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
50	6	595
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
503	-	503

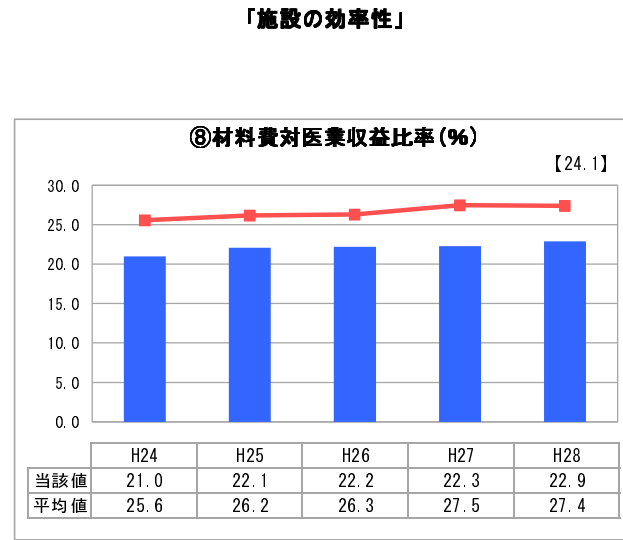
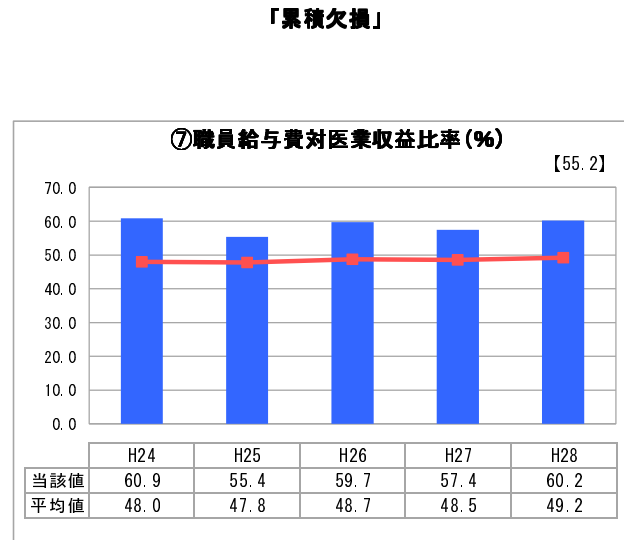
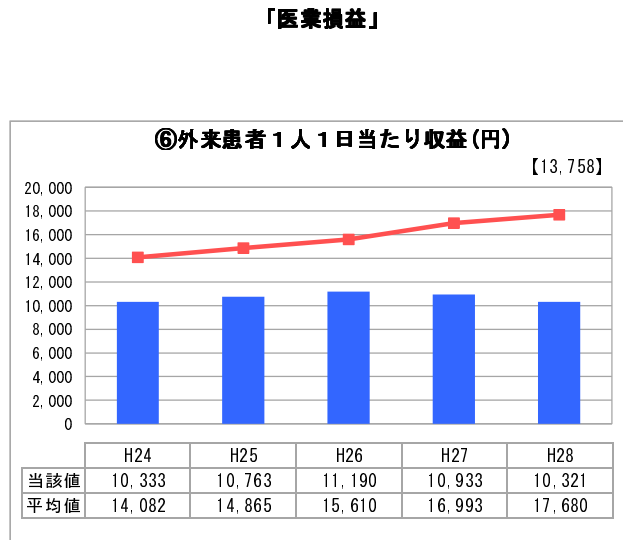
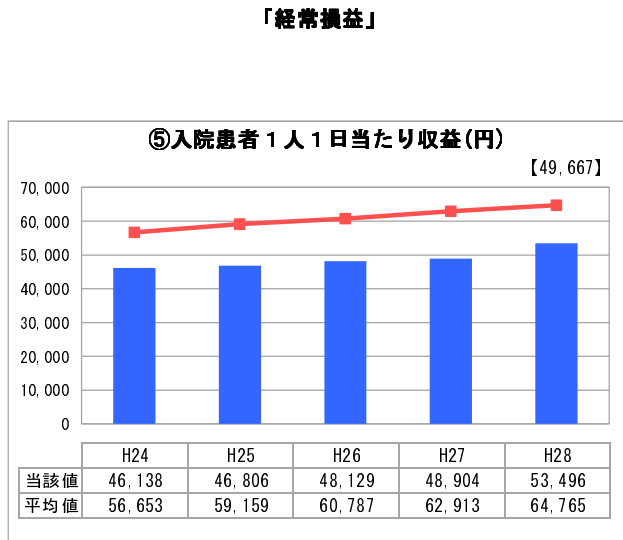
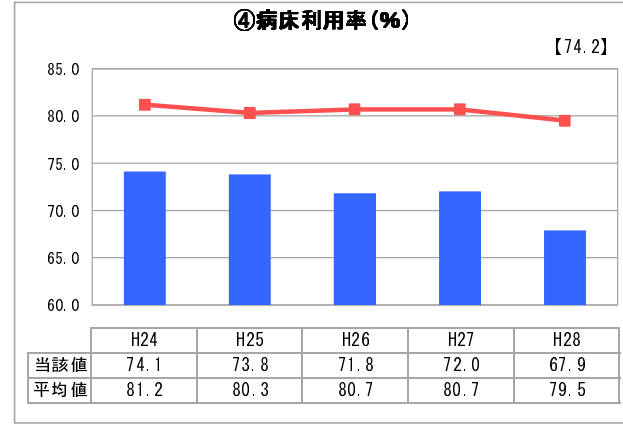
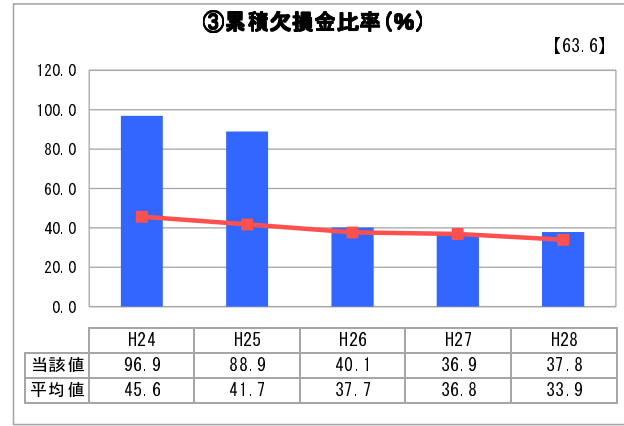
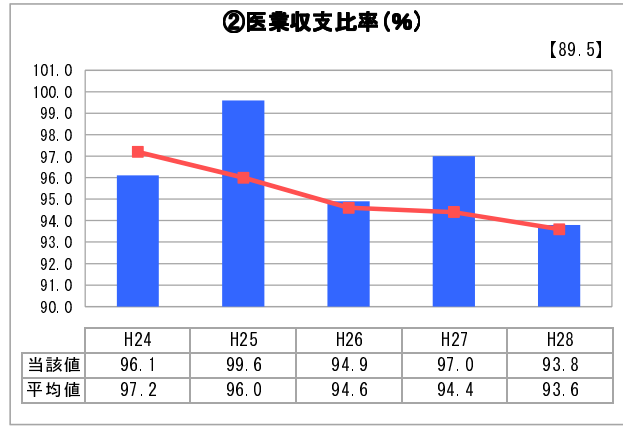
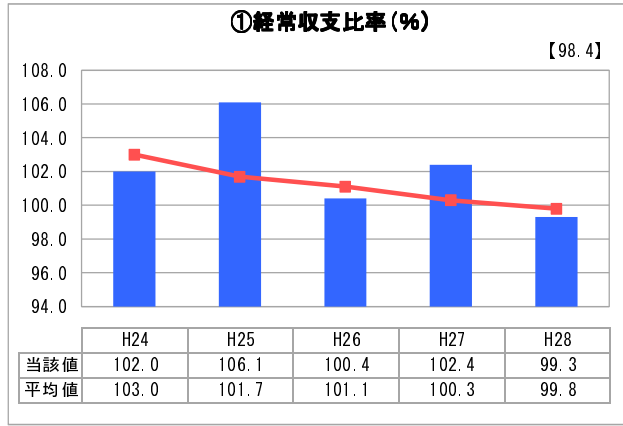
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

高度急性期及び急性期医療を担う中核病院として、高度で専門的な医療を提供することに加え、公的病院として、大規模災害時に迅速に傷病者を受け入れる役割も担っている。

II 分析欄

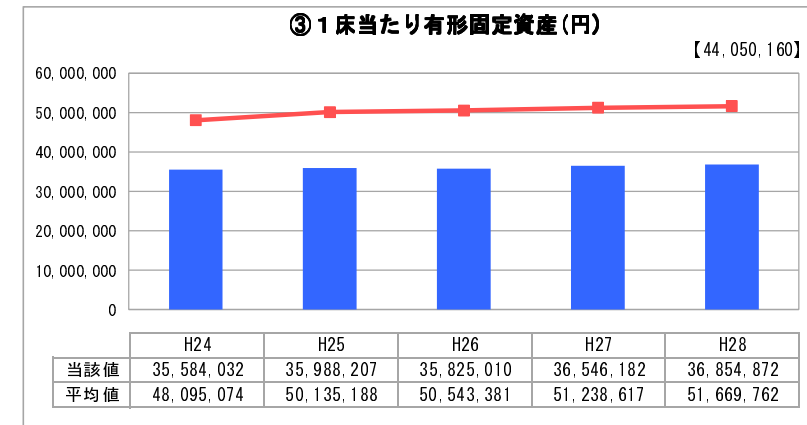
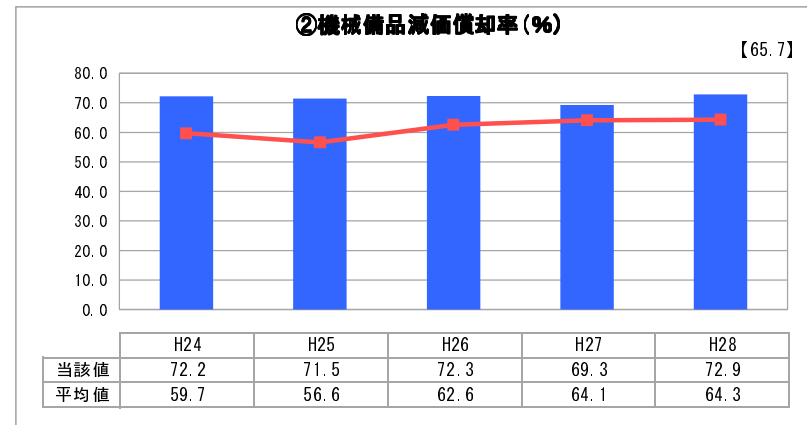
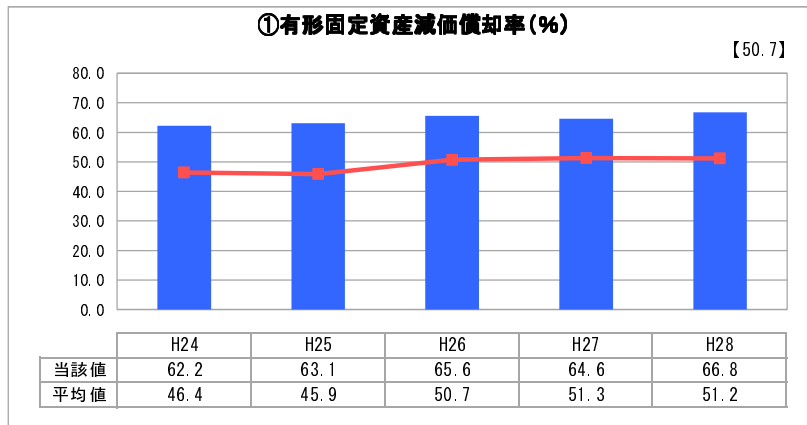
1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性については、経常収支比率、医業収支比率、累積欠損金比率については、類似病院平均値に近い数値であるが、病床利用率については低い値となっている。今後、救急・紹介患者を円滑に受け入れるなど、入院患者数を増やすための取組みを行っていく。
効率性については、後発医薬品の採用拡大に取り組んだことなどから、材料費対医業収益比率は低く抑えられているものの、入院・外来の患者1人1日当たりの収益が類似病院平均値と比して低く、また、職員給与費対医業収益比率も60%を超えていることから、収益増加に向けた取組みが必要となる。

2. 老朽化の状況について

減価償却率が類似病院平均値と比べて高く、老朽化が進んでいると言える。実際に、建設から33年が経過し、施設・設備等の老朽化が著しくなっていることから、医療の質の向上や老朽化への対応を目的として、これまで病棟改修や外来改修等を行ってきた。今後も、病院機能を維持・向上させるための改修工事や設備機器の更新等について、病院のビジョンや中長期的な経営状況、費用対効果等を考慮しながら検討していく予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

H28年度においては89百万円の赤字となり、H23年度の地方公営企業法全部適用以来、初めての経常損失を計上した。今後は、いかに新規患者を受け入れて入院患者数を増やし、増収・経営安定につなげるかが課題である。また、当院では平成29年度末に第4期経営改善計画を策定しており、この計画に定めた施策を着実に遂行することで、適正な利益を確保していくとともに、富山医療圏における急性期病院として、医療体制のさらなる強化を図り、質の高い医療の提供に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。